

北ミサイル太平洋落下

北海道通過、3700キロ飛行

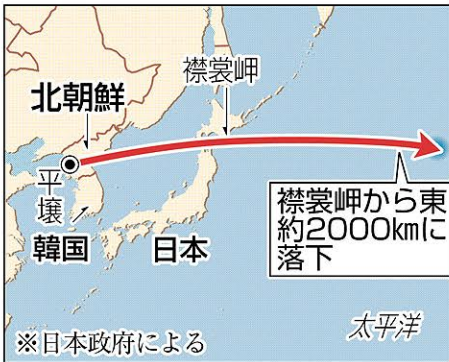
本県などにJアラート

政府によると、北朝鮮が日本時間15日午前6時57分ごろ、弾道ミサイル1発を北東方向に発射した。ミサイルは北海道上空を通過し、襟裳岬の東約2千キロの太平洋上に落下した。本県などで全国瞬時警報システム(Jアラート)が作動した。日米韓がミサイルの種類などの分析を急いでいる。国連安全保障理事会は11日、北朝鮮による6回目の核実験を受けて、新たな

制裁決議を採択。北朝鮮は国際社会の圧力に対抗して核・ミサイル開発を続ける強硬姿勢を鮮明にした。韓国軍によると、ミサイルは首都平壤の順安地域付近から発射され、約3700キロ飛行し、最大高度は770キロ。自衛隊法に基づき破壊措置の実施はなかった。中距離弾道ミサイル「火星12」や大陸間弾道ミサイル(ICBM)搭載「火星14」の可能性がある。

北朝鮮による弾道ミサイルは、8月29日に北海道上空を越えて火星12を太平洋に発射して以来、北朝鮮のミサイルが日本上空を通過するのは今回が6回目。北朝鮮は9月3日にICBM搭載用の水爆実験とする核実験を実施。新たな安保理制裁決議は北朝鮮への石油供給制限に初めて踏み込み、中国やロシアも賛成。北朝鮮外務省は「全面的に排撃する」と反発していた。

北朝鮮は8月上旬、米領グアム沖への火星12発射計画検討を表明。防衛省・自衛隊は上空通過が予想される島根、広島、愛媛、高知の4県に地对空誘導弾パトリオット(PAC3)部隊を展開している。(共同)



北朝鮮のミサイル発射を受け、記者会見する菅官房長官。15日午前7時33分、首相官邸

北朝鮮の弾道ミサイルは日本のはほぼ全域に届く中距離弾道ミサイル「ノドン」(最大射程1500キロ)や西日本を射程に収める中距離「スカッドER」(射程千キロ)、米領グアムを狙う中距離「ムスダン」(2500〜4千キロ)を保有。潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)「北極星1」(千キロ以上)や陸上配備型の「北極星2」(同)など固体燃料を使った新たな系列も開発、試験。7月4日と28日には大陸間弾道ミサイル(ICBM)「火星14」を日本海に落下させた。8月29日には中距離「火星12」(5千キロ)を太平洋に発射、北朝鮮のミサイルが日本上空を通過した5回目の例となった。(共同)